

南西ビジネス交流会 in 町田

本年度の南西フォーラムは、「連携」をテーマに首都圏南西地域での新産業創出を目指した取り組みを行っています。

経営環境が厳しく技術開発のスピードが加速する中、自社だけでなく他社や大学などが持つ技術やアイデア、サービスなどを組み合わせることで、機能性、装飾性など付加価値の高い製品の開発やサービスの提供に繋げる動きが一段と求められています。

今回は、町田市を会場に「基調講演」と「分科会」を通じて、連携の事例や連携先を求めている方々からの発表をもとに、地域内の企業や大学との連携づくりの場として交流会を開催します。

開催日：平成29年(2017年) **2月27日(月)**

開催時間：16:00-19:30 (15:30より受付開始)

開催場所：町田市民ホール 1階

基調講演・交流会会場：第4会議室
分科会会場：第1・第2・第3会議室

参加費：無料 ※プログラム3の交流会にご参加される方のみ、当日受付にて交流会参加費500円をお支払いください

定員：100名 (応募多数の場合は申込み順)

申込み：HP及び申込書をFAX

PROGRAM

プログラム1

16:10

↓

基調講演 「農工商連携による新たな地域ブランドの創出」

第4会議室

町田商工会議所工業部会が中心となり、市内外の多くの企業が連携して2009年に「まちだシルクメロン」プロジェクトを開始。現在では、独自の町田式水耕栽培槽を用いて、低コストで、高品質なメロンの安定的な収穫を実現しています。

本講演では、プロジェクト発足の経緯や製品化までの苦労、地域との連携や今後の展望についてお話しさせていただきます。

講演者

株式会社まちだシルク農園

代表取締役 林大輔氏 / 大浩研熱(株) 代表取締役
開発メンバー 斎藤之良氏 / (株)志成データム 代表取締役
事業化支援者 高井大輔氏 / (合)プラナス 代表
ファシリテーター 野村アグリプランニング&アドバイザリー(株)
取締役社長 西澤隆氏

プログラム2

分科会 A 第1会議室

「相模原・町田の大学・高専との技術・人材・設備の連携を探る」分科会

17:00

↓

A-1 サレジオ工業高等専門学校
「サレジオ高専の産学連携の取り組みについて」

17:25

↓

A-2 東京工業高等専門学校
「地域に根ざして半世紀 -東京高専の産学連携-」

17:50

↓

A-3 青山学院大学
「青山学院大学理工学部の産学連携の取り組み」

分科会 B 第2会議室

「相模原・町田の企業との異業種連携を探る」分科会

B-1 (株)オプトデザイン
「光と漆と金属の融合による装飾照明の開発」

B-2 ステラ技研(株)、ユタカ精工(株)
「社会インフラ維持管理のためのシステム開発」

B-3 町田商工会議所工業部会
「『やっちゃえ町田!』新しい異業種交流のかたち」

分科会 C 第3会議室

「町田市企業発信シーズ・ニーズとの連携を探る」分科会

C-1 東京航空計器(株)
「産業用ドローンへの取り組み」

C-2 (株)ハラル・クオリティ・ラボラトリー
「首都圏南西地域でのハラルビジネス推進」

C-3 (株)アジラ
「人工知能(AI)が創出する新たな価値と連携」

※各発表内容は裏面をご覧ください。

プログラム3

交流会

第4会議室

18:25

↓

主催：首都圏南西地域産業活性化フォーラム運営委員会

後援(予定)：関東経済産業局、神奈川県産業技術センター、(社)首都圏産業活性化協会

協力(予定)：相模原商工会議所、町田商工会議所、城山商工会、津久井商工会、相模湖商工会、藤野商工会、(公財)相模原市産業振興財団、相模原市、町田市、多摩高度化事業協同組合、(株)町田新産業創造センター、神奈川県中小企業団体中央会、(株)さがみはら産業創造センター

お問合せ先：首都圏南西地域産業活性化フォーラム事務局

株式会社さがみはら産業創造センター

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21

TEL：042-770-9119 / FAX：042-770-9077

HP：http://nansei-forum.jp

分科会発表内容一覧

A-1 「サレジオ高専の産学連携の取り組みについて」
 本校では地域交流センターを中心に、町田・相模原・八王子地域のイベント参加や企業との連携を図っています。利用可能な本校の施設・設備や各学科及び専攻科の特長について紹介します。

「機械電子工学科における取り組み事例」
 機械電子工学科では、「社会実装教育」を目標に、様々な場面で学生が社会に参加する産学連携に取り組んでいます。本講演では、機械電子工学科の産学連携に対するポリシー及びこれまでの具体的な取り組み事例、シーズなどについて紹介します。

A-2 「地域に根ざして半世紀—東京高専の産学連携—」
 東京高専は創立50年を迎え、多摩地域の産業に根ざして長年産学連携事業を展開してきました。近年、学生自ら社会ニーズを見つけ、問題解決し、社会へ導入する社会実装教育に力を入れています。これには産業界との連携が必要不可欠であり、実践的な技術者教育のため、技術的な問題を抱えている企業との連携を求めています。

「産技センター・技術課題解決をお手伝い」
 東京高専産技センターでは、各種3Dプリンターや電子顕微鏡、X線回折装置、X線光電子分光装置などによる機器分析装置があり、近隣企業に安い金額で利用可能となっています。各装置に精通した技術者がおり、技術的な悩みや試作や測定に際しての相談もお受けしています。

「広報戦略型インターンシップと社会実装教育」
 現場型技術者センスを育てる共同教育的なインターンシップに共に取り組んでくださる企業を探しています。更に、企業や社会の技術的・社会的・学術的課題を専門に近い教員の監督の下で、学生が主体的に問題解決し、自らの力で社会実装していくような取り組みも行っています。

A-3 「青山学院大学理工学部産学連携の取り組み」
 青山学院大学理工学部では、相模原市、町田市の企業との産学連携に積極的に取り組みます。受託・共同研究などの産学連携の枠組み、先端技術研究開発センターでの装置活用などを紹介するとともに、理工学部主催科学・技術セミナーや科目等履修生制度などの地域に開かれた学びの場を提供する取り組みを紹介します。

「高周波用材料の電気特性評価と電波環境改善」
 数kHz～100GHzにおける材料の誘電率・透磁率およびシールド効果の評価が可能であり、高周波用材料の開発にもご協力可能です。またこれらの材料を応用した電波吸収体・シールド材料の開発も手がけており、これらの共同開発もしくは材料をご提供頂けるメーカーを探しています。当日は、これらの最近の研究成果について紹介します。

「希土類を含む自己集合型分子による多重偏光発光膜」
 希土類を有機分子に結合させると、希土類本来の発光の性質である、色純度の高いスペクトルを示します。有機化合物の設計と合成は、その発光発現だけでなく、分子集合の制御にも至ります。今回は、光を色（波長）と強度（発光効率）に加え、第3の因子として「偏光」に着目した分子膜の機能とその事業展開にむけた可能性を紹介し、情報共有を目的とした意見交換を求めています。

「世の中に無い近赤外広帯域LEDを創ります」
 本研究室のガラス蛍光体一体型LEDは、小型・長寿命・熱線の放射が小さいというLEDの特徴を活かしつつ、一般的なLEDの欠点である狭い半値幅を解決できる画期的な光源です。医療や農業分野等で使用されているハロゲンランプの置き換えが可能です。所望の波長や帯域のLED又は発光材料がカタログに無い場合は、ご相談ください。

「IT 端末と機械学習を利用した応用システムの開発」
 本研究室では、機械学習、統計処理などの技術を駆使したデータサイエンスに関する基礎技術、応用システムに関する研究を行っています。今回は、IT 端末の日常的な利用過程から逐次的にデータを収集し、そのデータを利用した機械学習の結果に基づき、使うほどに利便性が向上する応用システムの開発について紹介します。

「無拘束生体計測による健康管理システム」
 本研究室で開発している、在宅環境において心拍、呼吸、体動、イビキ、咳、掻破などの生体情報を、体にセンサを設置することなく計測するセンシング技術を紹介いたします。さらに、計測した生体情報から、睡眠段階の推定、睡眠時無呼吸の検出、皮膚の掻破の検出など、健康管理支援のためのシステムについても紹介します。

B-1 「光と漆と金属の融合による装飾照明の開発」
 LED平面発光による柔らかい光を作る（株）オプトデザイン、天然漆を活かしたデザイン塗装を行う（株）DUCO、無機質な金属を装飾的に加工する富士工業（株）、まったく異なる分野で事業展開する3社が、技術～光と漆と金属～を融合し、芸術性の優れた照明器具の開発を行い「相模原ブランド」として発信しています。製品化への試行錯誤から見える各社の強みを紹介し、異業種連携の可能性についてお話しします。

B-2 「社会インフラ維持管理のためのシステム開発～ロボットの活用～」
 橋梁やトンネルなど社会インフラが老朽化する中で、これらを効率的に維持管理・更新するためのシステム開発を国が主導で推進しています。ステラ技研（株）は平成26年度からNEDOのプロジェクトのメンバーとして橋梁等の点検用のロボット開発を進めてきました。プロジェクトの概要と当社の取り組み、システム化に向けた協業について紹介します。

B-3 「『やっちゃえ町田！』新しい異業種交流のかたち」
 「町田市は神奈川県へ突き出すような形で存在する。…大げさに言えば国境地帯だ。」三浦しをんの直木賞小説にそう表現された東京都町田市。小説に描かれた町田の地理的・文化的な特徴をそのままに商工会議所工業部会が始めた異業種交流。新しい取り組みと目指すところを紹介します。

C-1 「産業用ドローンへの取り組み」
 弊社は、産業用ドローンを自動飛行させるために必要なドローンの運動を計測する「モーションセンサ」と頭脳となる“フライトコンピュータ”を開発、販売しています。この新製品の技術シーズと弊社にとって新しい市場となる産業用ドローン市場参入への取り組みを紹介します。

C-2 「首都圏南西地域でのハラールビジネス推進 -イスラム教徒(ムスリム)に安心して受け入れられる食と街づくり-」
 少子高齢化と人口減少で国内市場が縮小し、地域おこしのためのムスリム市場の獲得が必要になっています。このため日本の「食」と文化の発信によるインバウンド、アウトバウンドの拡大が期待され、食品・商品などを科学的に検査・分析（ハラール衛生検査）し、ムスリムから安心して受け入れられる食と街づくりを進めています。

C-3 「人工知能（AI）が創出する新たな価値と連携」
 いま「人工知能」という言葉が新聞や雑誌に載らない日はない、というくらいの速さでこの技術は社会に浸透していっています。この技術の可能性について、画像認識の分野に特化した内容でご紹介するとともに、今後どのような業界や業種と連携していくかについて具体的な例で紹介いたします。

アクセス



会場：町田市民ホール

住所：東京都町田市森野 2-2-36

交通：JR 横濱線「町田駅」中央改札口（北口）より徒歩約 10 分

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

第37回 南西フォーラム 参加申込書

【送り先】 FAX : 042-770-9077

※ホームページからでも、お申し込みいただけます。

貴社名				ご希望の分科会に「○」を付けてください。			
住所				17:00	A-1	B-1	C-1
参加者	部署・役職名	氏名					
	部署・役職名	氏名		17:25	A-2	B-2	C-2
連絡先	電話	FAX					
	e-mail			17:50	A-3	B-3	C-3
この講演を何で知りましたか？ <input type="checkbox"/> DM <input type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> WEB <input type="checkbox"/> メールマガジン <input type="checkbox"/> その他（ ）							

※個人情報取り扱いについて ・ご記入いただいた個人情報は南西フォーラムに関する情報提供と参加者募集のご案内、ご連絡に利用させていただきます。・個人情報は、取扱目的以外に利用したり第三者に提供することはありません。

お問合せ先：首都圏南西地域産業活性化フォーラム事務局（担当：五島・霜村）

株式会社さがみはら産業創造センター 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21

TEL : 042-770-9119 / FAX : 042-770-9077 / HP : http://nansei-forum.jp